

岐阜県立大垣工業高等学校

学校長 神谷 政人

学校住所 岐阜県大垣市南若森町301番地1 電話 0584-81-1280

- 1 会議の名称 大垣工業高等学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|--------|---------------|
| 委員 | 川瀬 勇 | 南若森第2自治会長 |
| | 小林 貴仁 | 株式会社ツチヤ専務取締役 |
| | 中島 尚子 | 輪之内町女性会議事務局 |
| | 林 貴久 | 太平洋工業株式会社人事部長 |
| | 度会 さち子 | 岐阜女性史研究会会長 |
- (委員名は五十音順)
- 育友会長 後藤 博和
- 学校側
- | | |
|-------|--------------------|
| 神谷 政人 | 校長 |
| 奥村 年久 | 事務部長 (欠席) |
| 酒井 孝男 | 副校長 |
| 高橋 信行 | 教頭 (全日) |
| 西脇 誠 | 教頭 (全日) |
| 堀 秀樹 | 教諭 (全日: 教務主任) |
| 小野 哲男 | 教諭 (定時: 教務主任) |
| 山内 義之 | 教諭 (全日: 生徒指導主事) |
| 中野 久成 | 教諭 (全日: 進路指導主事) |
| 山下 泰司 | 教諭 (全日: 工業部長) (欠席) |
- 3 会議の目的 岐阜県立大垣工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、平成25年度の教育方針・重点及び学校課題を説明し、協議テーマである「地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくり」について提言を受ける。
- 4 会議の開催 平成25年7月5日(金) 13:30~15:15 大垣工業高等学校 会議室
委員5人と育友会長、学校側8人が出席
- 5 会議の概要
- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 学校長挨拶 | 学校評議員の委嘱 |
| (2) 授業参観 | 学校長が校内を案内 |
| (3) 全日制 | 教育目標と指導の重点、大工マニフェスト 説明 |
| | 各部の取組(教務・生徒指導・進路指導・工業部) 説明 |
| 定時制 | 教育目標と指導の重点、大工マニフェスト、定時制の取組 説明 |
| (4) 協議 | |
- 地域、産業界及び保護者から期待され信頼される学校づくりについて
- 意見 1 近隣の駐車場で夜遅くまで話をしている生徒がいた。近隣の住民の迷惑になる可能性があるため、生徒へ注意をしておいてほしい。
- 意見 2 近隣に住んでいるが、下校時に携帯(スマートフォン)をいじりながら自転車に乗っている生徒を時々見かける。危険なため、生徒へ注意をしておいてほしい。
- 意見 3 部活動中の生徒などが、道路で近隣住民に元気よく挨拶してくれる。本当に気持ちがいい。

- 意見 4 飲み物(缶や紙コップ)が学校近くの通学路に落ちていることがある。捨てているのは、大垣工業高校の生徒ではないかもしれないが、折を見て生徒へ注意をしておいてほしい。
- 回答 1 集会で話をして徹底していきます。また、2学期からは下校指導もしていきます。
- 回答 2 定時制の方では、授業が終わった開放感で、大きな声で話したりするケースもあるかと思えます。マナーが身に付いていない生徒もいるので、またご指導いただければありがたいと思えます。
- 意見 5 コミュニケーション能力と基礎学力が、しっかりと身に付いた生徒を育成してほしい。さらに、今後は英語力もある生徒を育成できるとよい。
- 意見 6 当然のことではあるが、工業高校ならではの教育(基礎的な技術・技能をしっかりと身に付けさせること)については、今後もしっかりと継続してほしい。
- 意見 7 挨拶指導と安全教育は大切であるので、今後も続けてほしい。
- 意見 8 防災(地震)対策として、実習室などの備品の固定化の推進が必要である。
- 意見 9 工業高校の生徒は、高校入学時に既に自分の将来像(どのような仕事に就きたいか)を描いている生徒が多いと聞いている。その上、さらに高校3年間で専門分野に関する様々な体験をして、卒業していく。普通科高校から、何となく大学へ行って就職していく生徒より、はるかに有利である。
生徒が工業高校で学んだことは、社会へ出た後に、困難を乗り越えるエネルギー源になるはずなので、今後も頑張ってもらって勉強するように生徒へ伝えてほしい。
- 意見10 生徒が工業の実習をしている様子を参観したが、大変一生懸命取り組んでいる姿に感心した。
- 意見11 女子生徒が少ない(全日制13名、定時制4名)ようである。「ものづくりの場」への女性の進出の推進を図るためにも、中学校と連携して女子生徒の増加を目指す取組が必要ではないか。
- 意見12 男子生徒が多い学校であるので、恋愛やデートDVに関する教育が必要ではないか。
- 回答 3 男女の関わり方に関する指導は、本校では大切だと考えています。デートDVに関わらず、異性につき合えない生徒に対する指導も必要と考えています。
- 回答 4 昨日、1年生対象に性講話を実施しました。本校は男子生徒が多いことを踏まえ、内容も吟味して具体例を示しながら話をさせていただきました。生徒も興味を持って傾聴していました。
- 意見13 自分の子どもが工業高校へ通っていたが、その子は、高校で専門分野を学んでいることもあって、目的意識をしっかりと持っており、頼もしく見えた。今日の授業参観でも、しっかりと前向きに取り組んでいる生徒ばかりで感心した。

6 会議のまとめ

本日いただいたご意見を真摯に受け止めて、本校の教育活動を進めてまいります。